

31P-0438

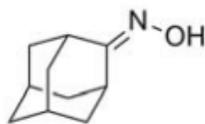
ツキヌキユーカリ (*Eucalyptus perriniana*) 培養細胞による 2-アダマンタノンオキシムの変換

○塚田 真介¹, 折原 裕¹(¹東大院薬)

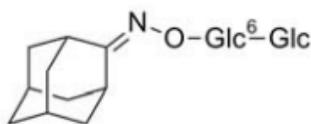
【目的】ツキヌキユーカリ(*Eucalyptus perriniana*)培養細胞は、外部から投与された非天然化合物アダマンタンを変換し、アダマンタノール、アダマンタンジオールのグルコース配糖体を与える。さらに演者らは、各種官能基の有無による変換様式の違いについて研究するべく各種アダマンタン誘導体の変換研究を行い、水酸基以外にカルボキシル基、チオール基がグルコース配糖化されることを明らかにした。今回、新たに構造中にオキシム基を有する、2-アダマンタノンオキシムを基質とした変換研究を行った。

【方法】液体培養しているツキヌキユーカリ培養細胞に、グルコースおよび2-アダマンタノンオキシムを投与後、1 週間培養した。収穫後、培養細胞は破碎後メタノールで抽出し、細胞メタノール抽出物および培地から、HP20,ODS カラムクロマトグラフィーとHPLCを用いて2-アダマンタノンオキシム変換物を精製し、各種NMRとHR-MSにより構造を決定した。

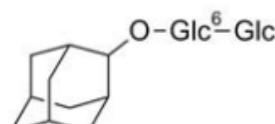
【結果】これまでに、主要な変換物として**1**、**2**が得られた。変換物**1**はオキシム中の水酸基にグルコース二糖が配糖化した新規の化合物であり、変換物**2**は2-アダマンタノールのグルコース二糖配糖体である既知化合物であった。これらの他にも複数の変換物が確認されており、現在精製を進めている。



2-adamantanone oxime



1



2